

## 令和3年10月 下田市教育委員会定例会 会議録

令和3年10月19日（火）13時30分下田市教育委員会定例会を下田市立中央公民館2階中会議室に召集した。

出席委員は次のとおりである。

佐々木 文夫	教育長
田中 とし子	委員
渡邊 亮治	委員
天野 美香	委員

委員以外に出席した者は次のとおりである。

糸賀 浩	学校教育課長
平川 博巳	生涯学習課長
土屋 大祐	学校教育課 参事
鈴木 芳紀	生涯学習課 課長補佐
土屋 仁	学校教育課 課長補佐
内田 陽久	学校教育課 子ども育成係長
原 隆史	学校教育課 学校教育係長
金守 俊彦	生涯学習課 社会教育係長
澤地 彩	生涯学習課 図書係長

本会議録調製者は次のとおりである。

土屋 仁	学校教育課 課長補佐
------	------------

### 1 開会

13時30分教育長開会を宣す。

### 2 会議録署名人選出

会議録署名人に田中 とし子委員を選出。

### 3 9月臨時会及び9月定例会会議録承認

事務局より資料に基づき説明、承認

### 4 教育長報告事項

10月事業報告及び11月事業計画について、学校教育課参事、生涯学習課長から資料に基づき説明。

教育長 10月30日に開催される子供若者育成支援強調月間静岡大会には、教育委員の皆様にも参加をお願いしたい。  
事務局から補足があれば願います。

学校教育課長 10月4日に下田幼稚園保護者に対し、9月定例会において方針を決定した下田幼稚園の認定子ども園との統合についての説明会を実施した。  
保護者からは特に質問、意見等は無かった。

教育長 各学校の学校便り8月、9月分を配布した。学校の様子が分かると思うので、後ほどご覧いただきたい。

それでは、新聞記事を参考に報告する。

9月24日には、下田ディスコティークというイベントが開催され、主催者から収益金の一部を活用し、下田の子ども達に玩具を寄贈したいという申し出があり、各放課後児童クラブにブロック玩具を寄贈いただいた。

次に下田中学校の通学についての記事が掲載された。

補助金を利用し、保護者の負担をなるべく軽減するように支援するという事で、通学については色々議論があったが、稲梓地区からはスクールバスを2台運行する。詳細は後ほど確認いただきたい。

10月1日の台風16号の影響により、賀茂一部市町で休校との記事であるが、当市では、幼稚園、小中学校が休校となった。

教育委員の皆様にも視察いただいたが、10月5日に実施した下田東中学校の総合的な学習の授業の記事が掲載された。

今後も継続的にこの授業に取り組み、最終的には成果を教育委員の皆様にもご覧いただけるよう取り組んでいる。

10月11日には全国地域安全運動がスタートし、出発式が行われた。

小学校の下校時間に合わせて、青色防犯パトロールカーで、市内を巡回した。

下田中学校グラウンドに防球ネットの設置という記事が掲載された。予算を確保し事業費約3,200万円で工事を施工する。

続いて、サーフィン部創設へ教室という記事が紹介された。新中学校にサーフィン部が創設されることに伴い、地元サーフショップの協力を得て10月9日にサーフィン教室を開催した。

子ども達にサーフィンの楽しさを教えるために小学校5～6年生を対象に募集を行ったところ16人の子ども達が参加した。

当日は天気も良く、波も良い状況で子ども達は本当に楽しそうにサーフィンをしていた。

地域のサーフィン関係者から協力をいただき、新中学校サーフィン部創設に期待が膨らんでいる。

10月10日には教育委員会連続講座の1回目を開催した。

静岡大学防災センター長北村教授により「地震・化石記録から解読された下田市における自然災害の歴史」をテーマに講演をいただいた。

下田市民以外にも、賀茂地区、伊東市からも 40 人が参加した。

余談となるが、稲梓小学校で地層の授業の実施に関し、講師の照会があったため、北村教授にお願いしたところ、ZOOMを使用した授業ではあるが、地震、地層についての授業を行っていただくこととなった。

この講演会をきっかけとして、子ども達にも広がっていくこととなり、非常に良かったと思う。

次に、稲生沢中学校の最後の運動会についての記事が掲載された。

先ほども紹介があったが、当日は途中から降雨のため 5 種目で中断し、昨日午後から後半部分を実施した。

続いて、市長と語る会の記事が掲載された。

稲梓、下田東中学校の校舎解体へということで、現段階では期日は決定していないが、校舎が老朽化しているため市としては解体する方向で進んでいる。

市長と語る会は 7 回開催し、学校教育課長と参加したが、中学校統合に関する質問・意見は無く、通学関係や、図書館に関する質問、意見があった。

図書館は大分老朽化し、駐車場も狭く、危険であるため何とかしてほしいとの要望であるが、新築を強く求めるものではなく、子ども達や市民に本を好きになってもらいたいという市民の思いもあり、工夫を求めているもの。

図書館については、現在検討しているが、簡単に新築という訳には行かず、生涯学習課でも街中図書館という発想の中で、喫茶店に小さな図書館を設置したらどうかという計画も出ている。

すぐには新しい図書館が出来ない中で、何とか少しでも市民に図書館の代わりになるようなものを新しい発想の中で今考えているということで、市長からも話があった。

最後に、9 月定例会でも話題になったが、静岡新聞に端末の安全利用徹底をというテーマで社説が掲載されていたので紹介する。

以上であるが、質問等あれば、お願いしたい。

全委員 特になし。

教育長 それでは、教育長報告事項は承認とする。

## 5 議事

### (1) 議第 41 号 要保護及び準要保護児童生徒の認定について

教育長 次に議事に入るが、当初、議事の前定は無かったが、急遽学校を通じ、準要保護児童生徒の認定について申請があったため、議事を追加した。

この件については特定の個人に対する情報が含まれる案件のため、非公開での審議をお願いしたい。

全委員 異議なし。

教育長 議第 41 号要保護及び準要保護児童生徒の認定について、是非公開で審議を行うこととする。

～非公開審議～

教育長 議第 41 号要保護及び準要保護児童生徒の認定については原案のとおり承認することを決定した。

<非公開での審議>

認定 1 件

## 6 協議報告事項

教育長 次に協議報告事項について、事務局の説明をお願いします。

学校教育係長 資料を配布したが、静岡大学教育学部伊藤教授の研究室と大賀茂小学校鈴木校長等で協議し、新中学校のロゴを作製した。

今後の活用方法としては、中学校の封筒等に印刷する等を考えている。

教育長 色々な場面で活用できる。

封筒という話があったが、ジャージ等にも使用するのか。

学校教育係長 マークも作製していただいているが、先日報告したワッペンデザインのどちらかを選択しようということになっている。

制服納入業者によると、ワッペンのデザインをジャージ・体操服に使用している学校がほとんどなのである。

今後色々なパターンのサンプルを作製してもらい、検討したいと考えている。

教育長 ジャージには学校名がバックプリントされており、どこの中学校かすぐにわかるものが多い。

そのような活用も検討するのか。

学校教育係長 そのような活用方法も考えられる。

プリントについては、費用が係らず綺麗に印刷できる昇華プリントという方式があるとのことで、例えば下田ジュニアハイスクールの文字をバックプリントすることも可能である。

そのサンプルも今後いただく予定である。

教育長 ジャージ等については、また検討し決定するというので、封筒等に活用していく。字体についても伊藤先生に考えていただき、それぞれ意味があると聞いている。色々な場面でこれを使用していくということで、承知願いたい。

天野委員 三種類あるマークは何か意味があるのか。

学校教育係長 色々なパターンを作っていた。このうちのどのパターンを使用しても構わないこととなっている。

教育長 基本的にこのロゴを使用することよろしいか。

全委員 異議なし。

## 7 その他

教育委員会 11月定例会を11月26日（金）13時30分から下田市立中央公民館大会議室で開催。

## 8 閉会

10月定例会 10月19日（火）13時30分開会。

教育長 14時15分に閉会を宣す。

会議録署名人